

**転入促進・転出抑制の**

**今後の事業展開は？**

**問**

本市において、転入促進・転出抑制に重点を置くことがたいせつであるが、どの市町村も同じ課題を持ち、転入促進・転出抑制の競争が激化している。競争に勝つためには、ほかの市町村を上回る本市の更なる強みを打ち出さなければならぬが、転入促進・転出抑制の今後の事業展開について、どのように考えているのか。

**答**

人口減少の抑制を図る上で、転入促進・転出抑制の視点が重要であることは言うまでもなく、移住・定住や若者世代を中心としたUターンによる社会増の実現を目指す取組に重点を置く必要があるため、引き続き都市部から地方回帰への関心の高まりを捉え、本市がターゲットとする子育て世代や若者世代、Uターンを希望する学生などに対し、質の高いアプローチをしていくことが重要であると考えている。

さまざまな都市間競争の中



首都圏で開催した移住セミナー

で、日本全国の市町村がアプローチをしているが、本市の強みの一つとして、移住を希望しているかたに対し、アテンドサービスを行っている。それぞれの暮らしに向き合い丁寧な対応をしているということは、ほかの市町村にないことであり、本市の武器にしていきたい。

転出については、それぞれのライフステージによって変化することが推察される。転出抑制・転出回避に向け、本市への愛着や誇りを育むことに加え、ライフステージにおける不安の解消、生活、教育環境の整備が求められていることは承知しているところである。

今後においても、引き続き移住・定住施策を進め、本市の特性を生かした住みやすいまち、住み続けたいまちとなるよう、若者を含む幅広い世代に選ばれるまちを目指していきたい。

**ICT巡回支援員・**

**指導員による**

**教育現場でのサポートを！**

**問**

本市はいち早くG I G Aスクール構想に取り組み、一定の成果が見られ、ICTを活用した指導が定着したことから、ICT巡回支援員・指導員の配置を取りやめた。しかし、実際には教員の熟練度にばらつきがあり、ICT活用による業務を負担に感じ、授業での活用においても個人差が生じており、近年の間き取りでは、教職員、生徒の満足度において、よい結果が出なかった。

そのような現状があり、ICT活用技術のスキルアップによる業務の負担軽減や授業の質の向上のため、ICT巡回支援員・指導員の再配置を行ったが、その効果はどうか

っているか。また、今後、ICT巡回支援員・指導員の配置を継続していくのか。

**答**

再配置の効果について、ICT巡回支援員・指導員の相乗効果により、教員のレベルアップ対策として新たに取組んだ協働学習支援ソフト、スクールタクトの認定マスター制度に教員の約半数が取り組み、全国でもトップクラスの数値となる44名もマスターを創出することができ、今後のICT教育を牽引できる人材の育成につなげることができた。

継続した配置については、先般実施した教員に対するアンケート調査において、ICT巡回支援員の再配置について肯定的な意見が多い一方で、支援員の訪問頻度や個々の支援員のICTスキルの差による問題提起など、さまざまな意見や指摘をいただいたところである。

今後は、学校現場の意見を伺いながら、学校が組織的に機能し、さまざまな課題にも機動的に対応できるように支援体制を検討していきたい。

**自民クラブ**

井上 浩 二議員



1 (一般質問)  
感染症への取組について

**コロナワクチン無料接種**

**終了後の補助の考えは？**

**問**

新型コロナウイルス接種種においては、予防接種法に基づく特例臨時接種を行い、費用は全額公費負担であったが、この制度は令和6年3月31日で終了となる。

厚生労働省では、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者などには、今後も年に1回、秋から冬の間に接種を行う方向で検討されているが、接種費用はインフルエンザの接種と同様に一部負担となるのか。5